

2025 年 7 月 31 日

**投資先 株式会社アソシエ・アカデミー
(株式会社アソシエ・インターナショナル)
株式会社グローバルキッズCOMPANY へ継承**

日本プライベートエクイティ株式会社
URL: <https://www.private-equity.co.jp>

日本プライベートエクイティ株式会社(以下、「JPE」といいます。)は、投資先で、子育て支援事業を展開する、株式会社アソシエ・インターナショナル(本社:東京都目黒区)の事業持ち株会社である、株式会社アソシエ・アカデミーの全株式を東証スタンダード上場企業の株式会社グローバルキッズCOMPANY(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中正雄一氏)に譲渡、継承いたしました。

JPEは、中小企業に特化した“事業承継ファンド”として、これまでに全国 37 社の中小・小規模企業の資本と経営の課題を解決し、企業価値を高め、次世代へと継承してきましたが、本件で、JPEからの“卒業先”は 29 社目となります。

株式会社アソシエ・アカデミーは、東京都が自治体として直接出資する“事業承継ファンド”の「TOKYO・リレーションシップ1号ファンド(以下、「TOKYOファンド」といいます。)」による、第1号の投資支援先でもあります。TOKYOファンドとともに歩んできた、“事業承継、事業基盤強化、成長戦略の実現”というステージを終えたことで、今般、ファンドから“卒業”し、次のステージへと踏み出します。

□ TOKYOファンドによる承継 ーファンドに託された背景ー

株式会社アソシエ・アカデミーは、100%子会社として、東京都目黒区や港区を中心に認可保育所をはじめとした子育て支援事業を展開する、株式会社アソシエ・インターナショナルを有する、事業持ち株会社です。(以下、両社を総称して「アソシエ」といいます。)

アソシエは、創業の地である目黒区や港区を中心に、保育所 24 施設、学童クラブ 14 施設、子育てひろば 4 施設、子育て支援施設 4 施設の合計 46 施設を運営する、業歴 34 年の地域に密着した保育事業会社です。都心にドミナント展開する多様な施設の運営や、地域密着の子育て支援の豊富な実績に基づく保育品質は、地域の保護者や自治体から厚い信頼を得ています。

JPEでは、2019 年 3 月、オーナー経営者が、「事業承継問題の解決」と「成長戦略の実現」という経営課題を同時かつ円滑に実現するためには、「TOKYOファンド」を活用することが最善の策であると判断し、選択したことを受け、TOKYOファンドにて、アソシエの株式を譲り受けました。

保育という公共性の高い事業を展開するアソシエにとって、JPEが運営し、東京都が主たる出資者となる「TOKYOファンド」を活用することは、“アソシエ”というブランドや保育理念、運営方針を堅持したうえで、さらに成長を目指すことができるものであり、保護者や地域、職員といった、すべての関係当事者にとっても望ましいものであるとの考えに基づいての選択でした。

譲渡先として、新たな株主に選ばれた「TOKYOファンド」としても、東京都による、『東京都内の中小企業の事業承継と成長をファンドへの出資を通じて支援する』という施策の下で、地域における待機児童問題や子育て支援という社会課題を解決するにあたり、アソシエは、地域になくてはならない会社であり、残すべき会社かつ成長させるべき会社であると判断し、アソシエの事業承継と成長戦略を支援し、実現するパートナーとなりました。

□ TOKYOファンドによる成長の実現　－中長期目線で成長を支援－

JPEは、創業オーナーからアソシエを託されてから今日までの 6 年強の時間を会社と共に過ごしてきましたが、譲受から 1 年も経たずして、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の危機に直面した他、その後の出生率のさらなる低下、保育事業者の選別の加速化といった、社会の大きな変化にも見舞われました。しかしながら、後継経営者の内山恵介社長をはじめ、幹部社員、現場の職員の皆さんとともに乗り越え、企業としても強くなり、アソシエの進化と成長を実現してきました。

その結果、TOKYOファンドが継承した 2019 年 3 月当時の認可保育所等の保育サービスの拠点は合計 26 施設、売上約 16 億円という規模でしたが、直近では、認可保育所に加え学童クラブや子育て広場等の運営形態も拡大し、都心でのドミナント展開という方針は堅持しながら、渋谷区や品川区にも施設を新規開設するなど合計 46 施設を展開、売上 55 億円を超える規模にまで成長しました。

預かり児童数も、2019 年当時からは、ほぼ倍増しており、2016 年頃から社会問題となっていた待機児童の増加に対して、あるいは、待機児童問題解消後の子育て支援に対しても、“選ばれる保育事業者”として地域や社会の課題解決の一役を担い、地域社会に貢献し続けています。

また、アソシエで働く職員も、2019 年当時の 435 人から、コロナ禍を経た現在でも約 900 名と、倍以上の規模になるなど、働く人からも“選ばれる保育事業者”として、地域での雇用機会の創出や活性化に寄与しています。

□ TOKYOファンドからの卒業 一進化と成長を続けるための仲間一

少子化の加速と保育需要の減少を受けて、保育事業を取り巻く経営環境は大きく変わりつつあります。本格化する少子化時代において“選ばれる保育事業者”になるためには10年、20年先を見据えた将来のビジョンを描きながら、目の前の保育事業を進めていくことが必要とされています。

具体的には、保育の担い手減少への対応、複雑化する補助・助成の仕組みや現場業務のICT化、デジタル活用による保育DXの推進、職員のスキルアップ促進等、次の「保育所保育指針」を視野に入れて取り組んでいく必要もあります。

こうしたなか、アソシエは、オーナー経営から脱却し、企業として自立したとはいえ、今後、個社だけでは対応が難しい課題が山積するなか、保育業界の同業として問題意識を共有しながら、保育の実態に即した経営判断や施策の実行、規模を活かした連携が不可欠になってくるものと判断し、次のパートナーへとバトンタッチしました。

新たなパートナーとして株主となった、株式会社グローバルキッズCOMPANYは、2006年に東京都足立区で創業、以降、2017年に東証一部上場、2023年から東証スタンダード市場に移行した上場企業で、直近の売上264億円、従業員約3,660名、東京・神奈川・千葉に160以上の施設を展開、東京都内では130の施設を運営しています。

『子ども達の未来のために』という企業理念の下、2030年に向けて、グループで目指す姿として『職員と親子と地域に最も信頼される存在となり、子ども達の育ちと学びの社会インフラになる』というビジョン「2030トリプルトラスト」を掲げています。

保育業界では、少子化時代であるからこそその教育や子育て支援サービスへの需要が高まり、保育の質が問われるようになっていることから、アソシエが、都心でドミナント展開し、地域に根差して積み上げてきた信頼や情報ネットワーク、人財採用等の取り組みをグローバルキッズのグループ内でも展開し、互いに、より強化することで、きめこまかく多様な保育サービスの提供が可能になるといった相乗効果が見込まれます。また、職員間の人財交流や学びの場を共有し、広げていくことで、互いに、人としての成長を実現し、保育の質の向上へとつながることも期待されます。

今後、アソシエも、グローバルキッズCOMPANYの“仲間”の1社となり、保育業界において、ともに成長できる仲間(=アソシエ、COMPANY)が広がって大きな輪となっていくなか、「子ども・保護者・職員・地域社会にとって最良の保育事業会社」として、これからも選ばれ続け、「地域において価値のある保育事業会社」として成長し続けることを願っています。

□ TOKYOファンドの果たした役割 ―希望と期待をつなぐ節目―

アソシエは、“この街で、いっしょに育てる。いっしょに育つ。”という理念の下、保護者や職員など、子ども達を囲むみんなが、“アソシエ(仲間)”であるとの考えで、地域とのつながりはもちろん、地域や子ども、保護者に寄り添い、職員の皆さんとの人と人とのつながりを大切にして、34年にわたる歴史を重ねてきました。

アソシエの34年の歴史のうち、創業オーナーの下で28年、その後、ファンドとともに過ごした期間が6年と、小学校入学から卒業までと同じ、長いようで短い6年という時間は、これからアソシエが重ねていく歴史のなかでいえば、ほんのわずかな時間です。ただ、この6年という時間が、天に向かって伸びる竹の“節目”のように、アソシエがこれからも成長し続けるため、そして、しなやかに変化対応し続けていくための時間となることを願っています。そして、創業者の“志”はもちろん、“アソシエ”というブランドと理念をも次の世代へとつないでいくことができるのであれば、事業承継ファンドとしての役割が果たせたものと考えます。

以 上

【 各社概要 】

(※順不同、2025年6月30日現在)

□ 株式会社アソシエ・アカデミー

□ 株式会社アソシエ・インターナショナル <https://associe-international.co.jp/>

本 社	東京都目黒区目黒3丁目11番3号
設 立	1991年4月 *株式会社アソシエ・インターナショナルの設立
資本金	5,000万円
代表者	代表取締役社長 内山 恵介
従業員数	829名(連結・パート、契約社員含む) *2025年3月時点
事業内容	認可保育園、学童保育クラブ、子育てひろば等の運営、 子育て支援事業

□ 株式会社グローバルキッズCOMPANY <https://www.gkids.jp/>

(証券コード：6189 / 東京証券取引所スタンダード市場 上場)

本 社	東京都千代田区富士見二丁目14番36号
設立(創業)	2015年10月 (創業:2006年1月)
資本金	13億円
代表者	代表取締役社長 中正 雄一
従業員数	3,664名(連結・パート含む) *2024年9月末日現在
事業内容	認可保育所、認定こども園、小規模保育、学童クラブ、 児童館などの運営を通じた子育て支援事業

□ 日本プライベートエクイティ株式会社 <https://www.private-equity.co.jp/>

本 社	東京都千代田区神田三崎町二丁目 15 番 6 号 K-STAGE 5F
設 立	2000 年 10 月
資本金	6,000 万円
代表者	代表取締役社長 法田 真一
事業内容	中堅・中小企業、小規模企業の事業承継や事業再編を 対象としたファンドの運営、コンサルティング

【 本件に関するお問い合わせ先 】

日本プライベートエクイティ株式会社

東京都千代田区神田三崎町二丁目 15 番 6 号 K-STAGE 5F

Tel:03-3238-1726 Fax:03-3238-1639

担当: 投資企画部 (info@private-equity.co.jp)